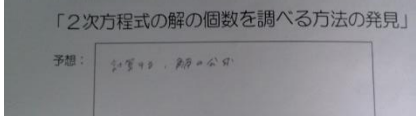
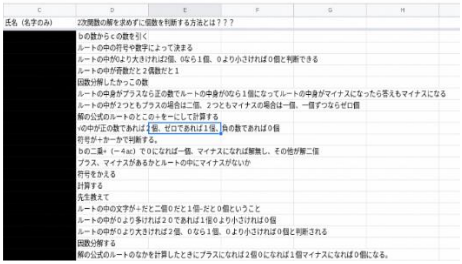
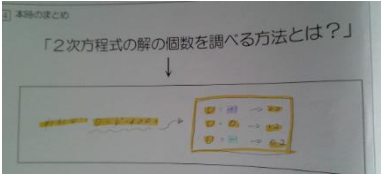


(別紙様式)

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立和気閑谷高等学校		
実践者等	岡本安宜	実践日	令和3年10月28日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	数学科 数学 I		
対象生徒 (学年等)	1年生		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	第3章 2次関数 2次方程式の実数解の個数		
使用したアプリ等	Qubena 小中版、Google フォーム、Google スプレッドシート		
実践の概要 (ねらい等)	判別式の存在を生徒自身に発見させる。 発見した法則を文章化して、クラスメイトに説明させる。		
実践の内容			
<p>(1) 本時の目標の確認「2次方程式の解の個数を調べる方法を発見する」</p> <ul style="list-style-type: none">前時までの学習の内容から各生徒自身で仮説を立てさせて、授業内容に入る 			
<p>(2) Qubena 小中版で2次方程式の解を求める問題の確認を行う。</p>			
<p>(3) 解を求めることと、解の個数を求めることの違いに触れつつ、段階的なヒントを与える</p>			
<p>(4) 方法に気が付いた生徒から Google フォームに考え方を文章化して記入させる</p>			
<p>(5) 各生徒の考えを Google スプレッドシートで共有し考えを発表させる。 解の公式のルートの中身という言葉を引き出し判別式へと導く。</p> 			
<p>(6) クラスメイトの発表から、改めて自分の言葉を使って本時の目標についての答えを記入し授業冒頭の仮説と比較をさせる。</p> 			
<p>(7) 確認問題で再度情報を整理したのち、文字を含む2次方程式の解の個数について新たな仮説を立てさせる。→この仮説を次回までの課題とし、本時の自己評価を Google フォームで行う。</p>			
参考となる HP 等			

実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。(肖像権の確認等は各校で行った上で提出してください。)